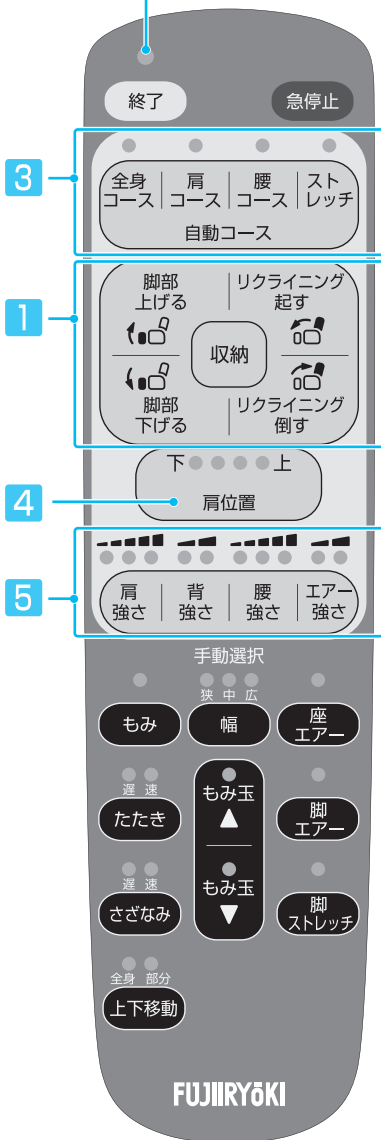


SKS-55 カンタン操作ガイド

主電源ランプ



- 主電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、本体の主電源を入れてください。
- 枕を後ろに回して、お座りください。

自動コース

1 背部と脚部をお好みの位置に合わせてください。

脚部： を押すと脚部が上がります。

を押すと脚部が下がります。

背部： を押すと背もたれ部が起き上がります。

を押すと背もたれ部が倒れます。

2 脚部右側の脚部反転レバーを引いて、お好みの状態（脚もみ、フットレスト）に回転させてください。

3 からお好みのコースを選択してください。

※選択した自動コースのランプが点灯します。

4 自動コースを押すともみ玉が肩位置を自動的に検知します。

検知した肩位置は、 を押すと変更できます。



自動コースの種類



全身コース 全身のコリや疲れをやわらげるコースです。



肩コース 肩・背部のコリや疲れをやわらげるコースです。



腰コース 腰のコリや疲れをやわらげるコースです。



ストレッチコース ストレッチ動作を中心としたマッサージコースです。

自動コース動作中の調節

肩位置を調節したいとき

- 肩位置** でお好みの高さに調節します。
● 肩位置は、7段階から選択できます。

肩の強さを調節したいとき

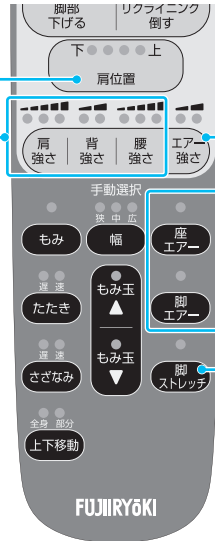
- 肩強さ** でお好みの強さに調節します。
● 肩強さは、5段階から選択できます。

背の強さを調節したいとき

- 背強さ** でお好みの強さに調節します。
● 背強さは、2段階から選択できます。

腰の強さを調節したいとき

- 腰強さ** でお好みの強さに調節します。
● 腰強さは、5段階から選択できます。



エア強さを調節したいとき

- エア強さ** でお好みの強さに調節します。
● エア強さは、2段階から選択できます。
※ エアの強さ調節は部位ごとに調節はできません。

座・脚エアーを「入/切」したいとき

- 座エアー** **脚エアー** を押します。

- それぞれボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
※ フットレストの状態でも脚エアーは動作します。
※ 脚ストレッチが「入」の状態でも脚エアーを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

脚ストレッチをしたいとき

- 脚ストレッチ** を押します。

- ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。
※ フットレストの状態でも脚ストレッチは動作します。
※ 脚ストレッチが「入」の状態でも脚エアーを「切」にすると、脚ストレッチも同時に「切」に切り替わります。

強さのランプ

強さ	ランプの点灯		○…点灯 ●…消灯
	5段階 (肩・腰)	2段階 (背・エア)	
弱 1	○ ● ●	○ ●	
2	○ ○ ●	● ○	
3	● ○ ●		
4	● ○ ○		
強 5	● ● ○		

ご使用前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

⚠ 警告

- 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。
破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服（ズボンなど）のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- 次の人は使用しない。
医師からマッサージを禁じられている人
(例：血栓〔そく（塞）栓〕症、重度の動脈りゅう（瘤）、急性静脈りゅう（瘤）、各種皮膚炎および皮膚感染症（皮下組織の炎症を含む）など)
- 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師に相談する。
(詳しくは取扱説明書を参照)
- お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- リクライニングするときは、必ず周囲（本体の後部、前部、側部、下部など）に人やペット、物がいないことを確認する。
- 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。